

Kanazawa
Architecture
Tourism

金沢城 アラウンド ウォーク

金沢アーキテクチャー・ツーリズム

vol.4

ルート①

金沢アーキテクチャー・ツーリズムとは

街のそこかしこにある魅力的な建築物を訪れて歩くツアー。金沢は江戸時代から現代まで多様な様式の建築物が見られ、そこから昔と今の感性や息吹が感じられる。

ちよつと、
金沢まで。

ルート①
〈ルート順〉

金沢学生のまち市民交流館
金沢市老舗記念館
武家屋敷跡野村家
金沢聖霊修道院聖堂
金沢市足輕資料館
金沢市立玉川図書館
近江町市場・北國銀行武蔵ヶ辻支店
町民文化館
下新町通り
主計町茶屋街

Kanazawa
Architecture
Tourism

金沢アーキテクチャー・ツーリズム vol.4 ルート②

兼六園 セントラル ウォーク

金沢の様々な建築物を、それぞれの趣きでテーマ別にコース設定した「金沢アーキテクチャー・ツーリズム」。第四弾は金沢城や兼六園を囲むルート。江戸時代から現代までの建築物の魅力を感じて、いままでにない体験ができる旅へ。

ルート②
〈ルート順〉

成巽閣
金沢くらしの博物館
石川県立歴史博物館
鈴木大拙館
金沢21世紀美術館
しいのき迎賓館
石川四高記念文化交流館
尾山神社神門
玉泉院丸庭園
三十間長屋

ちよつと、
金沢まで。

金沢アーキテクチャー・ツーリズム

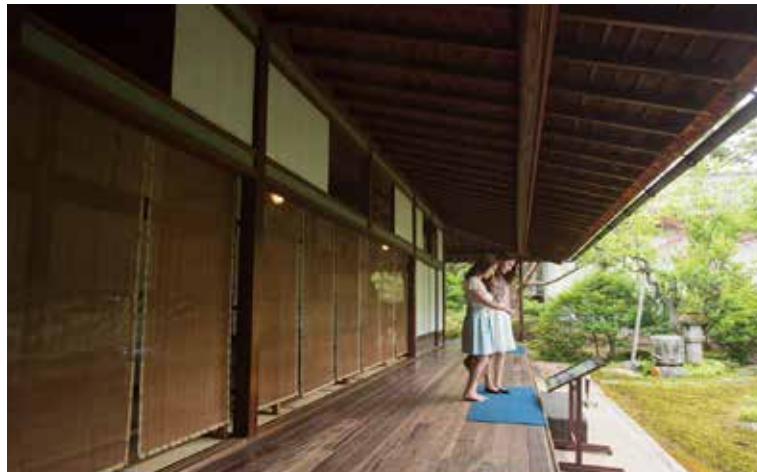
兼六園 セントラルウォーク

兼六園を取り囲むエリアは、歴史的建造物や文化施設が多く、新旧の建物を半日ほどかけて巡る、ミニ・トリップが楽しめます。

① 成巽閣

幕末の藩主(13代斉泰)が母の隠居所として建てたもの。公的空間としての華麗豪華な謁見の間には驚かされるが、2階に上がると遊び心ある数奇屋風の私的空間があり楽しいです。

更に邸内には茶室、土蔵、庭園、式台など見所も多く、オーナーの殿様一家の一人となったつもりで想いを巡らすのも一興です。



柱がない幅広長い縁側の底が、どのように支えられているのか考えてみて下さい。

建築年／1863年
金沢市兼六町1番2号
☎076-221-0580
営／9:00～17:00 休／水曜

正式な玄関である「式台」



天井には加賀群青色にふちどられて、それぞれに木目が異なる木が交互に張り付けられています。



謁見の間

ナビゲーター

水野一郎 金沢工大教授



Profile

東大建築学科卒、東京芸大大学院卒。金沢工大で教鞭をとりながら、建築を通してまちづくりや地域環境で数々の業績を持つ。

Start

3時間
所要時間

コース
⑥番のりば
金沢駅東口

バスで15分
北陸鉄道路線

徒歩5分
兼六園下・金沢城

徒歩5分

② 金沢くらしの博物館

美しくレトロな木造で、屋根の上の銅板葺きの尖塔も楽しい明治の中学校校舎。今は金沢くらしの博物館になっていて外部もインテリアも味わい深いものです。石川県指定の文化財ですが、国指定になってもおかしくない建築物です。



建築年／1899年
金沢市飛梅町3-31 ☎076-222-5740
営／9:30～17:00
休／年末年始、展示替え期間
10月9日リニューアルオープン



徒歩5分

③ 石川県立歴史博物館

3棟並んだレンガ建築、明治末から大正初期に陸軍の兵器庫として順次建てられました。軍が撤退後は金沢美術工芸大学校舎として使われ、その後石川県立歴史博物館になりました。このように再利用されるのは力強く端正な表情と共に、レンガの持つ華やかさが人々を引き付け続けているからです。



建築年／1986年(博物館開館)
☆建物自体は1909年、1913年、1914年に出来たもの
金沢市出羽町3-1 ☎076-262-3236
営／9:00～17:00
休／年末年始、不定休(資料整理期間)



●●●●● ▲ 徒歩12分

4 鈴木大拙館

囲まれた静かな水面と借景の緑を生み出した建築に佇んでいると、いつの間にか「鈴木大拙の禅の心とは」と想いを巡らしている自分に気がきます。そんな体験が起こる水と緑と空と建築がつくるドラマ的な空間があります。



建築年／2011年
金沢市本多町3-4-20
☎076-221-8011
営／9:30～17:00
休／月曜、年末年始

●●●●● 徒歩8分

5 金沢21世紀美術館

「まるびい」と呼ばれる円形の建物の中に展示室を散りばめた美術館。周りは総ガラスになっていて、どこからでも入り易く、通り抜けもできます。プールや空の作品が常設されていて、常に来館者を楽しませる人気の高い現代美術館であると共に、世界的に高い評価を受けた建築作品でもあります。



建築年／2004年
金沢市広坂1丁目2番1号 ☎076-220-2800
営／10:00～18:00(金・土曜は20:00まで)、交流ゾーン/9:00～22:00
休／月曜、年末年始



6 しいのき迎賓館

旧石川県庁舎の正面部を保存し、兼六園周辺文化の森のセンター的施設として再利用されました。建物が金沢最初の鉄筋コンクリート造となったのは、関東大震災の教訓からでしょう。裏側に回ると現代的なガラス建築になっていて表との差に驚かされます。なお、正面側の堂々とした2本のシイノキは国指定天然記念物です。



建築年／2010年(開館) ☆正面は1924年
金沢市広坂2丁目1番1号 ☎076-261-1111
営／9:00～22:00 休／年末年始

●●●●● 徒歩3分

●●●●● 徒歩3分

7 石川四高記念文化交流館

明治期に全国主要都市に開校したナンバースクールの一つがこの金沢の第四高等学校。美しく堅牢で立派なレンガ造建築で明治政府の強い意志が伝わってくる名建築です。今は石川四高記念文化交流館として当時の学園を振り返る展示がなされているので、入館してその気分に浸るのも良いでしょう。



建築年／1891年
金沢市広坂2-2-5
☎076-262-5464
営／9:00～17:00
休／年末年始



8 尾山神社神門

建設趣意書に、ことさらに珍奇を目指したのでも、伝統を踏襲したのでもなく、堅固を目指したとあるが、和漢洋の折衷デザイン、石と木の混構造、加賀藩の梅鉢紋と5色のギヤマンの併存など明治8年の建設は議論を呼んだでしょう。この前衛的作品が今や重要文化財であることは痛快です。



建築年／1873年
(神門は1875年)
金沢市尾山町11-1
☎076-231-7210
営／9:00～17:00(受付対応)
休／年中無休



徒歩3分

9 玉泉院丸庭園

明治以降全く姿を消してしまった金沢城内の庭園を発掘調査しながら復元を試みたものです。高低差のある地形を利用した池泉回遊式であり、独創的なのは高所の石垣がさまざまな意匠を持つ屏風となり、そこから落ちる一筋の滝が急流となって斜面を降り池に注ぐ立体的な構成です。ここでは是非玉泉庵にてお茶をいただきながら庭をゆっくり眺め、殿様気分を味わってほしいです。



建築年／2015年
金沢市丸の内 金沢城公園内
☎076-234-3800
営／【3/1～10/15】7:00～18:00
【10/16～2月末】8:00～17:00
休／年中無休



建築年／1858年
金沢市丸の内 金沢城公園内
☎076-234-3800
営／9:30～15:30
休／不定休

徒歩3分

10 三十間長屋

三十間長屋といっても人が住んでいたのではなく、加賀藩の軍備倉庫。2階建の横に長い建築でなまこ壁や漆喰壁や鉛瓦が印象的。近くの城外に明治期のレンガ造兵器庫が県立歴史博物館(本コース③)として残っているので、同種の建築として比較するのも面白いです。いずれも堅固にして重厚。



Course Map

金沢城アラウンドウォーク

バス移動

●●●●● 徒歩移動

兼六園セントラルウォーク

バス移動

●●●●● 徒歩移動

北陸鉄道
城下まち金沢周遊バス
(右回りルート)

北陸鉄道 路線バス



金沢アーキテクチャー・ツーリズム

金沢城

アラウンドウォーク

金沢城を取り囲むかつてあった外惣構をなぞるように、点在する江戸から明治、大正の古い建築物を訪ねます。

ナビゲーター

水野一郎 金沢工大教授

Profile

東大建築学科卒、東京芸大大学院卒。金沢工大で教鞭をとりながら、建築を通してまちづくりや地域環境で数々の業績を持つ。



移築年／1989年
金沢市長町2丁目2番45号 ☎076-220-2524
営／9:30～17:00 休／展示替期日(年末年始も営業)

※所要時間は、およその時間です。

Start

コース所要時間
3時間

金沢駅東口
(8, 9, 10番のりば)
北陸鉄道路線バスで10分
香林坊
徒歩3分

1 金沢学生のまち 市民交流館

金沢のど真ん中、片町の裏通りにある一九一六年建築の大規模な町家を保存し、更に市民に親しまれた料亭の大広間を移築して、合わせて学生の館として再利用しています。学都金沢のシンボルであり、市民や外来者との交流を願っている空間で、気軽に訪れることができます。



開館年／2012年
金沢市片町2丁目5番17号
☎076-255-0162
営／10:00～22:00
休／月曜、年末年始

徒歩7分

2 金沢市老舗記念館

金沢のメインストリートにあった老舗の薬種店を移築保存。堅牢で美しい骨格の木造店舗の価値を再確認でき、残して良かったと思う建築です。古い道具類も展示されています。



3 武家屋敷跡野村家

加賀藩士・野村家の屋敷跡。現在の建物は大聖寺廻船問屋宅の一部を移築したもので、華麗な建材や装飾が見れ、濡れ縁に迫る曲水などの庭園も含め、幕末の上流の空間が味わえます。

徒歩5分

4 金沢聖霊修道院聖堂

白い下見板張の外壁に丸窓やアーチ窓がつくロマネスク様式の教会堂で、チロル風の鐘楼も加わりかわいらしい造りです。内部もロマネスク様式ですが黒漆塗の列柱、群青や金で装飾されたアーチ、畳敷きの礼拝堂など金沢の文化も深く入り込んでいます。しばし静かに佇んでいたい空間。

建築年／1931年(金沢聖霊総合病院)
金沢市長町1丁目5番30号
☎076-231-1295
営／8:00～18:00
休／年中無休(行事の際は不可)



建築年／1843年
金沢市長町1丁目3番32号
☎076-221-3553
営／4月～9月:8:30～17:30
10月～3月:8:30～16:30
休／12月26, 27日



建築年／1932年
金沢市青草町88 ☎076-262-2161
営／9:00～15:00 休／土・日、祝



四角い弁当箱のような建築の中央部を繰り抜いて中庭とし、それが2つの対照的な内部空間（1つは吹抜けを持つ動的閲覧空間、もう1つはさまざまな用途の静的空間群）を区切ると共につなげています。

7 近江町市場・北國銀行武蔵ヶ辻支店

日本建築界の巨匠・村野藤吾の設計。砲弾状の三連アーチ、ブレキヤストコンクリートのルーバー、スクラッチタイルの柔らかな壁面など個性的で自由な造形が見られて楽しい建物です。



徒歩7分



建築年／1997年
金沢市長町1丁目9番3号 ☎076-263-3640
営／9:30～17:00
休／年中無休

徒歩3分

5 金沢市足軽資料館

下級武士であった足軽の家が残っているのは全国的にも珍しいです。この二棟は壊される寸前に解体保存し、当地に移築したものです。足軽になったつもりで、当時の生活を想像してみましょう。



徒歩5分



建築年／1978年
金沢市玉川町2-20 ☎076-221-1960
営／火曜～金曜：10:00～19:00
土・日・祝日：10:00～17:00
休／月曜（祝日は開館）、年末年始、特別整理期間

6 金沢市立玉川図書館

玉川公園の中にひっそりと、しかし力強く端正な美しさで佇む図書館。インテリアも楽しいです。別館として再利用されたレンガ棟と共に金沢が生んだ世界的建築家谷口吉郎・吉生親子の設計作品。



金沢の茶屋街の一つ。伝統的建造物群として国指定されたように紅殻格子の木造茶屋が高密に建ち並んでいます。今は昔ながらの茶屋の他に、居酒屋、工芸品店、旅館、アトリエなどが連なる多彩な街並みになりました。「主計町」は戦後変えられた町名を旧町名に復活させた最初の事例として有名です。

10 主計町茶屋街



徒歩3分



下新町の久保市乙剣宮の裏から主計町へ下る屈曲の階段路を「暗がり坂」と呼びます。主計町の入りくんだ細街路と共に秘密空間のようで心ときめきます。



建築年／1907年
金沢市 尾張町1-11-8
☎076-222-7670
営／3月～11月：10:00～18:00
12月～2月：10:00～17:00
休／平日、年末年始

徒歩5分

反りがあり鯉をのせる城郭風の瓦屋根と黒壁の土蔵造りがとても銀行だったとは思わせませんが、インテリアに入ると洋風でいかにも銀行という雰囲気を持つ意外性のある建築です。

8 町民文化館



徒歩5分

9 下新町通り

尾張町の表通りから二本裏の通り。金沢町家の典型であるこまちなみが点在し、金箔、袋物、佃煮の店、泉鏡花記念館、久保市乙剣宮などが連なる金沢らしい小路です。住民は金沢の文化の継承に熱心に取り組んでいます。



金沢市内で、古い木造の住宅と商家が連なる通りで、これだけの数の町家がそろうところは貴重です。独特の雰囲気がいまに残す、魅力ある小路と言えます。

